

令和2年6月5日

保護者の皆様

いわき市立錦中学校

### 水泳の授業の実施について

学校の水泳の授業については、スポーツ庁より通知がありました。主な内容は次の通りです。

- 学校プールについて、プール水の残留塩素濃度が適切に管理されている場合、水中感染のリスクは低い。
- 水泳の授業において、児童生徒の密集・密接の場면을避けるなど下記の事項を十分に踏まえた対策を講じることによって水泳の授業を実施することは差し支えない。
  - (1) 残留塩素濃度が基準の濃度となるように管理する。ドアノブやシャワー等の水栓を消毒する。
  - (2) 毎朝の検温、健康観察で体調が優れない場合は見学する。その際お互いの間隔を1～2m空けてマスクを着用するが、熱中症の恐れがある場合にはマスクを外して間隔を2m以上空ける。
  - (3) 不必要な会話を行わない。プール内で密集しないように一斉に大人数の生徒が入らないようにする。プール内やプールサイドでは間隔を2m以上空ける。
  - (4) 生徒が手をつないだり、体を支えるなど密接する活動を避ける。ビート板などの用具の使い回しを避け、使用後は消毒する。
  - (5) 更衣室が密集する場合には一斉に使用せず、少人数の利用とする。不必要な会話や発声をしない。更衣室利用の前後に手洗いを徹底する。マスクを外すのでマスクを適切に扱う。更衣室のドアノブやロッカーなど手を触れる箇所をこまめに消毒する。
  - (6) タオルやゴーグルの取り違えや貸し借りを防ぐ。

錦中学校では、スポーツ庁による感染防止対策を踏まえて、新型コロナウイルスの感染防止を徹底し、生徒の安全を最優先として、特に次の点に留意して水泳の授業を実施します。

- (1) 残留塩素濃度が基準の濃度となっているか毎授業前に計測する。
- (2) プール内で密集しないように、練習内容を精選するとともに、随時声かけをして注意を促す。また、不必要な会話や発声をしないようにさせる。
- (3) 見学の生徒については、熱中症にならないように、日陰や風通しのよいところで見学させる、日傘を利用するなどの対応をする。
- (4) 更衣室で密集しないように、お互いの距離を十分に取らせる。更衣室使用の前後で手洗いを必ず行う。また、不必要な会話や発声をしないようにさせる。
- (5) ドアノブ、シャワーの水栓等、生徒の手に触れる箇所は授業ごとに消毒を行う。

水泳の授業への参加については、ご家庭でお子様とよく相談してください。水泳の授業が心配で見学する場合は、学校にご連絡ください。

水泳の授業実施についてご理解とご協力をよろしくお願いいたします。